



育成目標

- ・心も体もたくましい子ども
- ・自ら考え主体的に行動する子ども
- ・自分や人を大切にし、人とのかかわりを楽しむ子ども
- ・豊かに感じることでできる心もち、自ら創りだしたり、表現したりする子ども

年長児の1年

一般的には、4歳児(年中クラス)は、自己顕示欲が強く何でも自分が1番でいたいし、とにかくお友だちと何かともめて喧嘩が絶えない年齢ですが、5歳児(年長クラス)になると、年長児としての自覚が芽生え、クラスの一員である自覚も強くなります。お互いを認められるようになり、決まりや約束を守ろうとします。また、教師の援助で、遊びが多様化し、技術・技能を培う時期でもあります。正義感が芽生え、他児の行動に対して注意したりする姿の反面、互いをかばい合いながら、協同する姿が見られるようになります。

幼児センターの年長クラスでは、2学期から取り組んでいる、縄跳び、けん玉、こま回しなど、出来ないことに挑戦して、どんどん上達し、さらにもっと上を目指して頑張る姿がたくましいです。発表会の練習でもその積極的な姿勢に成長を感じています。発表会が終わると園生活もあと残り3ヶ月になります。仲間と楽しい思い出をたくさん作っていただけるように、大人がしっかりと関わっていきたいと思います。

こま回しがブームです



こま回し検定に合格して賞状をもらいました

4級一番乗りに笑顔です